

令和7年度第5回あおもり未来ミーティング（北部第1区連合町会）会議概要

日 時：令和7年8月23日（土）14:00～15:40

場 所：油川市民センター

テマ：イベント費用補助について ほか

参加者数：20名

市側出席者：市長、副市長、総務部長、企画部長、市民部次長、福祉部次長、都市整備部次長、選挙管理委員会事務局長

■前回いただいたご意見に関する現在の状況の報告

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・地域の役員のなり手やイベント開催時の人手確保に苦労している。地域にいる市職員が地域活動に関わるような仕組みができないか。

⇒市では、町会が行っている地域活動等に職員が参加することは、市民活動等に関する知識や経験を得る絶好の機会であり、視野の広い職員の育成にもつながると認識している。このため、新採用職員や中堅職員等に対する研修において、町会活動を始めとした地域活動に積極的に参加するように呼びかけを行っている。さらに、各地域で実施されている市民団体等の活動や地域活動について、市役所内でのネットワークの掲示板を活用し、全職員に情報提供するなど参加の促進に努めている。

- ・防災について、自助、共助、公助で最も重要な点を教えてほしい。

⇒災害は待ってくれないため、まず重要なのは自助、共助である。共助ということでは、油川地区の自主防災組織の立ち上げ状況は2町会のみであるが、自主防災組織は連合町会単位でも立ち上げが可能である。市では、立ち上げの気運を高めるために、自主防災組織を結成していない町会にも防災士資格の取得を補助している。連合町会としての自主防災組織の結成について検討してほしい。

- ・洋上風力発電基地の設置により、油川埠頭の雪捨て場が令和7年度から使用不可と聞いているため、油川付近の海で他に雪捨て場を設置してほしい。代替地として令和6年度から新田浄化センターが雪捨て場となったが、開放時間が8時から16時までと制限がある。

また、沖館埠頭は大型車主体で開放しているが、軽トラック、小型トラックを対象に開放してほしい。

⇒市では、これまで冬期間に雪捨て場として利用してきた油川埠頭が、洋上風力発電の基地港湾の整備に伴い、将来的には雪捨て場として利用できなくなる見込みであるため、昨冬から地域住民の雪捨て場の代替地として「新田浄化センター敷地内」を、事業者用雪捨て場の代替地として「新城福田」を新たな雪捨て場として設置し、試行的に運用した。今後も新田浄化センターを利用できるよう関係者と協議するとともに、油川埠頭の代替地の確保に向け、引き続き県と協議していく。なお、油川埠頭への雪捨てについては、県から、令和7～8年度は利用可能であると回答をもらっている。

また、沖館埠頭は他と比べて敷地が狭く、危険な方法での雪捨て行為があったことから、4トン車以上、またはダンプアップ機能がある車両を対象とした雪捨て場としている。運用方法は今後の雪捨て場の利用状況を見ながら対応を検討していきたい。